

（BOX 2）最近の設備投資の特徴点

企業の中長期的な成長を見据えた投資スタンスに加え、これまで抑制されてきた投資のペントアップ需要が顕在化しつつあることもあって、計画から実現までの期間がやや長めの設備投資案件が増加している。この点について、機械受注の受注残高をみると（BOX図表 2 (1) (2)）、受注から出荷までのラグの長い機種（電力関連や航空機、鉄道車両など）を中心に、このところ積み上がり傾向が顕著となっており、最近は統計開始以来の高水準となっている。このように、長期の投資案件が増加している結果、最近では、機械受注との対比でみて、出荷に対応する資本財総供給ないしGDP設備投資が鈍めの動きとなっている（BOX図表 2 (3)）³⁹。一方で、こうした長期の設備投資案件の増加は、経済環境の急変等によるキャンセルが生じない限り、出荷ベースでみた設備投資を長期間にわたって押し上げる要因ともなる。したがって、資本ストック循環の観点から設備投資の増加ペースが鈍化しやすい見通し期間の後半にかけても、設備投資の増加基調が維持されやすいと考えられる。

なお、2015年度上期の設備投資のもたつきについては、新興国を中心とする海外経済の不透明感の高まりに伴う投資先送りの動きが、一部で影響している可能性も否定できないが、これまでのところ、その度合いは限定的と考えられる。この点、短観の製造業大企業における輸出計画と設備投資計画の修正パターンには、密接な相関があり、輸出の計画対比でみた下振れ幅が大きくなると、設備投資の下振れ幅も大きくなる、という関係が観察される（BOX図表 3 (1)）。こうした関係を念頭に、12月短観における今年度の輸出計画をみると、海外経済の減速から輸出が実績にかけて大きめに下方修正された2011年度や2012年度と比較しても底堅さを維持しているため、現時点では、この面からの設備投資の下押し圧力はさほど大きくないと推察される（BOX図表 3 (2) (3)）。

³⁹ なお、法人企業統計の設備投資額には、建設仮勘定（設備の建設のために支出した手付金、前渡金、材料費および設備の建設のために取得した機械等で、仮勘定として処理されたもの）も含まれている。このため、長期の投資案件で、出荷が完了していない段階であっても、建設仮勘定に計上されていれば、法人企業統計の設備投資額にはカウントされる扱いとなる。

設備投資の受注と出荷のラグ

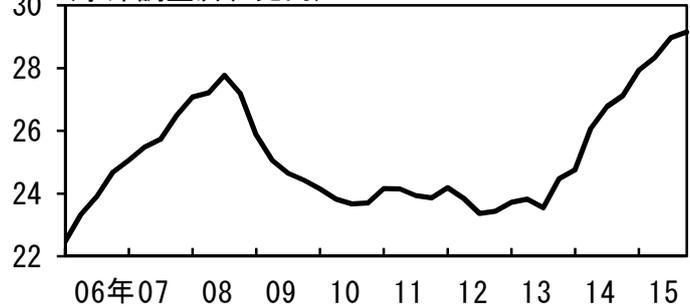
（1）機械受注・機種別の出荷ラグ

分類	ラグ	機械受注の 主な機種	直近 ウエイト (2014年)
長期ラグ 機種	6か月以上	原動機、発電機、 航空機、船舶、 鉄道車両	46.9%
中期ラグ 機種	2～4か月	建設機械、工作機 械、内燃機関、半 導体製造装置	38.4%
短期ラグ 機種	0～1か月	電子応用装置、風 水力機械、道路車 両	14.8%

（2）機械受注・総受注残

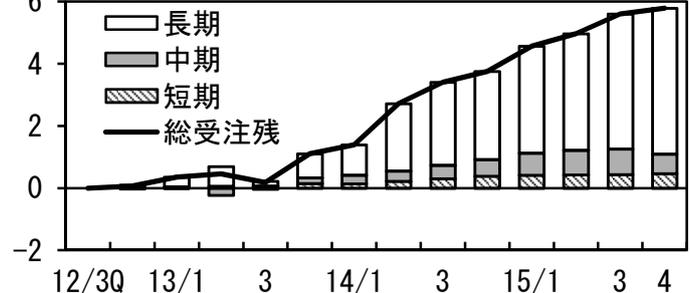
①水準

（季節調整済、兆円）



②直近ボトム(2012/3Q)からの累積変化

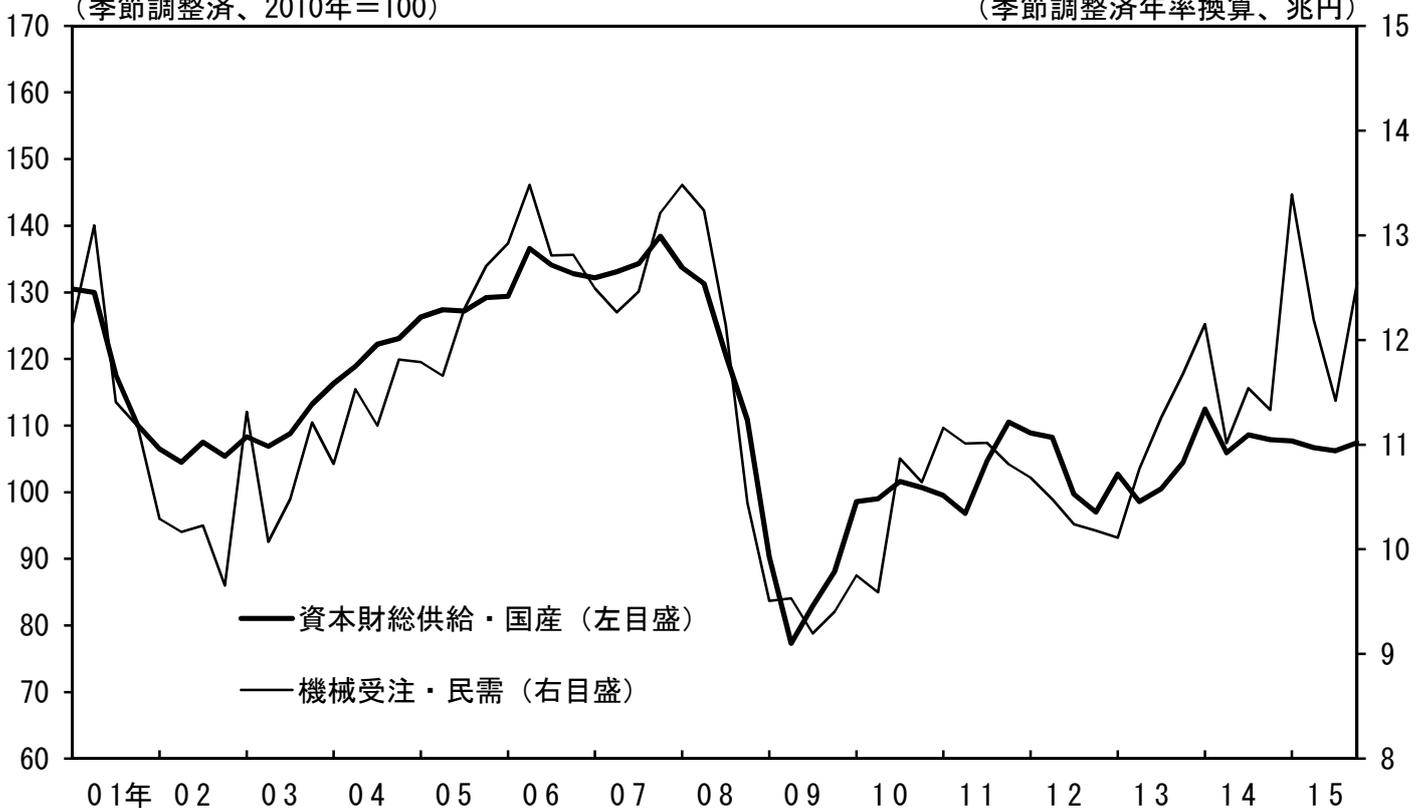
（季節調整済、累積変化幅、兆円）



（3）機械受注（民需）と資本財総供給（国産）

（季節調整済、2010年=100）

（季節調整済年率換算、兆円）



（注）1. （1）のラグの分類は、堀ほか（2014）「先行指標から見た設備投資」に基づく。

直近ウエイトは、2014年の総受注額に占める割合。

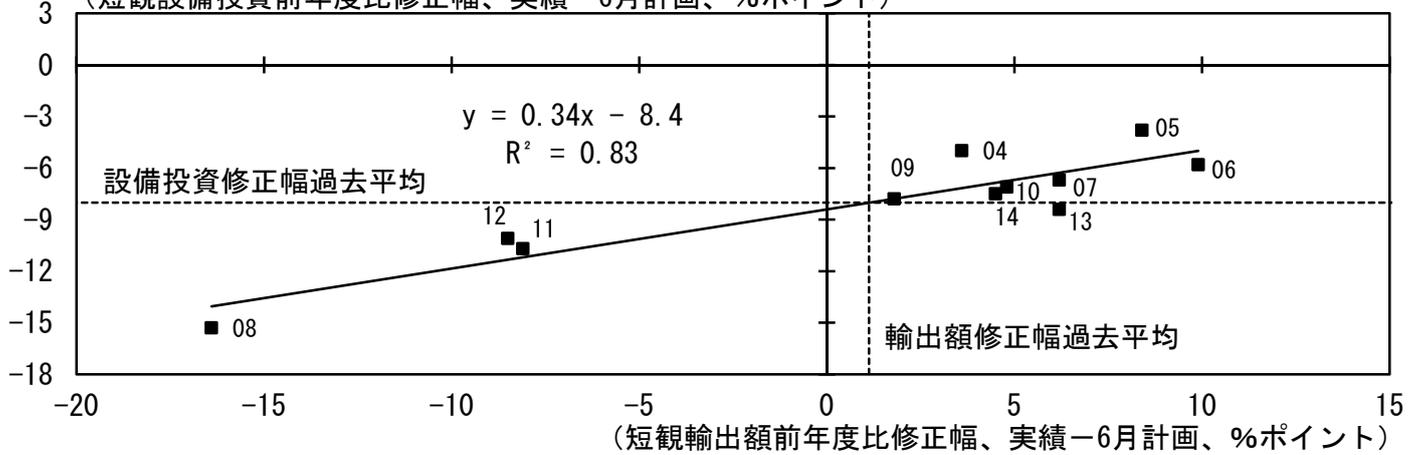
2. 2015/4Qは、10～11月の値。

（出所）内閣府、経済産業省、堀ほか（2014）「先行指標から見た設備投資」

輸出・設備投資計画の修正パターン（製造業大企業）

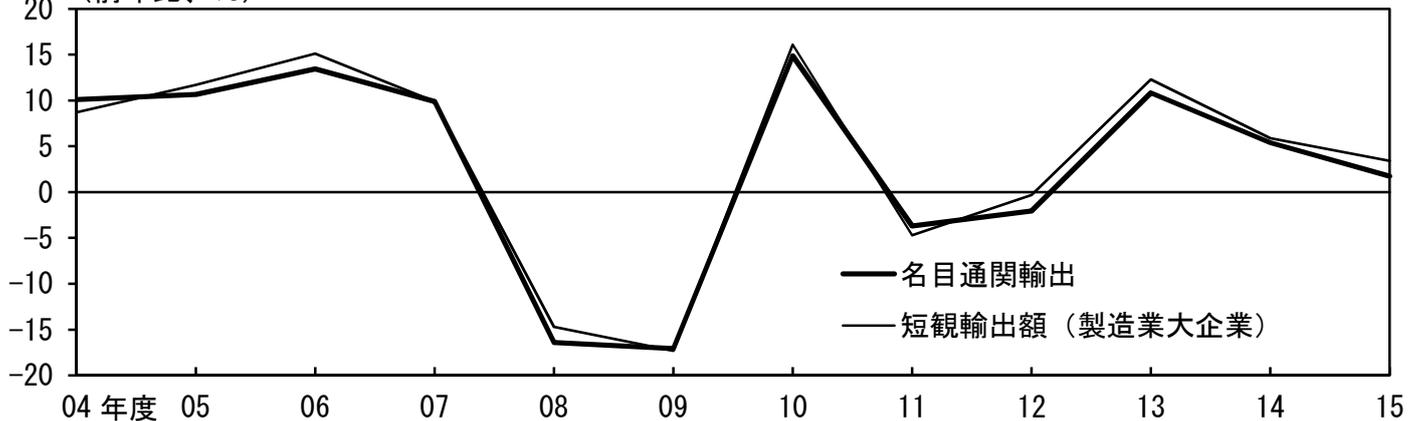
（1）短観における輸出額と設備投資の修正パターン（2004～2014年度）

（短観設備投資前年度比修正幅、実績－6月計画、%ポイント）



（2）短観輸出額と名目通関輸出

（前年比、%）

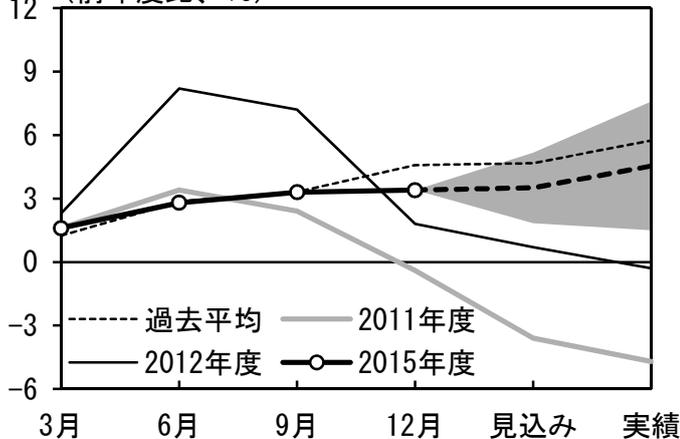


（3）短観輸出額と設備投資の足取りグラフ

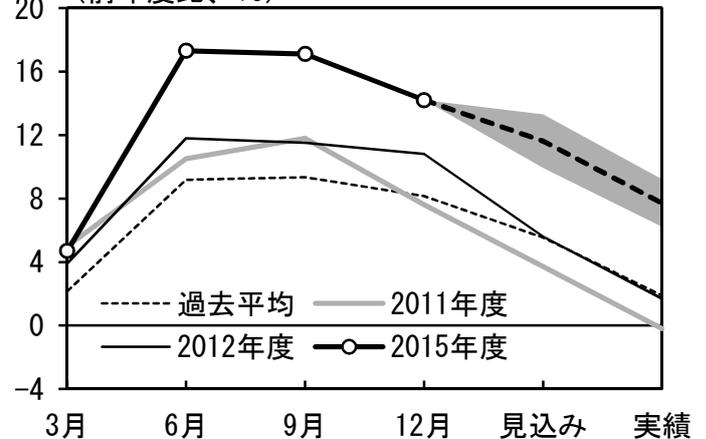
＜輸出＞

＜設備投資＞

（前年度比、%）



（前年度比、%）



- （注）1. 設備投資は、ソフトウェア投資額を含み、土地投資額は含まない。
 2. （2）の名目通関輸出の2015年度は、4～12月の値、短観輸出額は、12月短観計画値。
 3. （3）の2015年度の見込み値および実績値は、被説明変数を見込み値（翌年3月短観）および実績値（翌年6月短観）、説明変数を12月短観の計画値とした回帰式の推計結果をもとに外挿。推計期間は2004～2014年度（2008年度は異常値として除去）。過去平均は推計期間の平均値。シャドーは、±1標準誤差範囲を表す。